資料 5

第1回 L4モビリティ・アクセラレーション・コミッティ Honda ご説明資料



- 自動運転タクシーサービスの概要及びコミッティへのお願い事項
- 本事業で使用される車両
- 商業化エリア【案】
- 事業化までに必要となる許認可





cruise

HONDA

News Release

2023年10月19日

日本での自動運転タクシーサービスを 2026 年初頭に開始予定 ~クルーズ、GM、Honda でサービス提供を担う 合弁会社の設立に向けた基本合意書を締結~

GM クルーズホールディングス LLC (以下、クルーズ)、ゼネラルモーターズ (以下、GM) と本田技研工業株式会社 (以下、Honda) は、日本での自動運転タクシーサービスを 2026 年初頭に開始するために、サービス提供を担う合弁会社の設立に向けた基本合意書を締結しました。関係当局の承認を経て、2024 年前半の設立を目指します。

<サービス概要>

今回提供する自動運転タクシーサービスは、クルーズ、GM、Honda で共同開発した自動運転 専用車両「クルーズ・オリジン」が指定場所まで迎えにくるところから、目的地に到達するまで 全て自動運転で行われ、配車から決済まで全てスマートフォンのアプリで完結するタクシー配車 サービスです。

クルーズ・オリジンは、運転席の無い自動運転車両であり、対面 6 人乗りによる広い車内空間と 自家用車のようなプライベート空間を実現しています。ビジネスパーソンの移動時間の有効活用や、 家族や友人たちともっと楽に安心して楽しみながら移動できるなど、さまざまなお客様へ新たな 移動体験を提供します。

この自動運転タクシーサービスを、2026 年初頭に東京都心部で開始予定です。まずは数十台から スタートし、500 台規模での運用を見込んでいます。その後、順次台数を増加させ、サービス 提供エリアの拡大を目指します。

<業界との連携>

3 社は自動運転タクシーサービスによる新しい価値を提供するとともに、タクシーやバスの 乗務員不足など社会課題の解決にも貢献していきたいと考えています。このサービスの実現に 向け、自治体や交通事業者などさまざまなステークホルダーのみなさまとの連携をさらに強化 していきます。

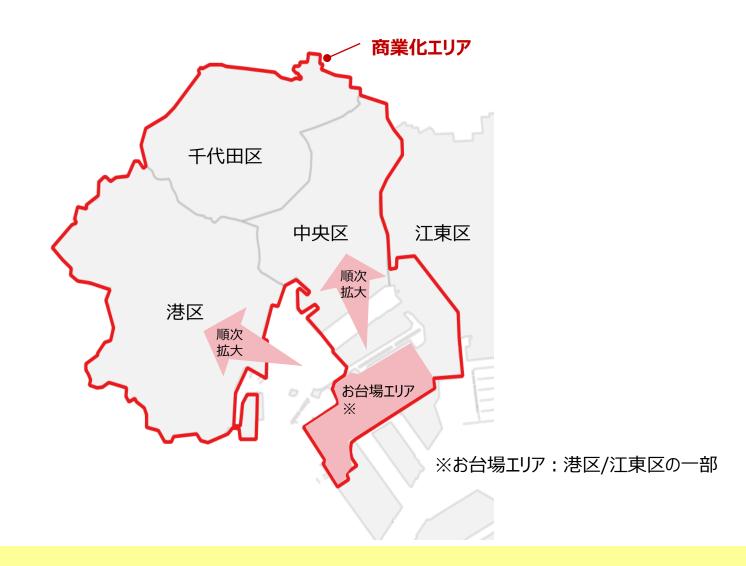
- 2023年10月19日、Honda、GM及びCruiseの3社は自動運転タクシー サービスを2026年初頭に開始する計画をプレスリリース。
- 具体的には、2026年度初頭に、東京都心部で、数十台からサービスをスタートし、500台規模での運用を見込むもの。
- 本サービスの開始には、各省庁が所管する法令との整合が必要であり、未 経験の内容も含む許認可を必要とする計画。
- Hondaとしては、政府が掲げる「2025年度目途に国内50か所程度で無人自動運転移動サービスの実現」にも貢献すべく、取組を進めて参る所存。各省庁からのご協力をお願いしたい。

本コミッティでご協力をお願いしたい事項

- □ サービス開始に向けた関係省庁・地方自治体との必要な許認可等の手続き の網羅的な整理
- 議論を要する手続きの必要な議論の期間等、手続きの準備も含めたスケジュールの確認及び管理
- □ また、一部手続きは関係省庁を跨ぐ依存関係にあるため、関係省庁が一堂 に会すコミッティでの手続きスケジュール等の調整



	Cruise AV	Origin		
イメージ	cruise			
役割	自動運行装置の走行実証	・自動運転タクシーサービスの提供		
用途	運転手乗車による走行検証	・保安員乗車による走行検証 ・無人による無償/有償運行		
機能	・運転手による操作が可能 ・自動運行装置相当の制御 ・遠隔監視/支援システムとの連動	・車内に運転手不在(実証中は保安員乗車) ・自動運行装置を用いた特定自動運行 ・遠隔監視/支援システムとの連動 ・ユーザーアプリ実装による有償サービス		
センサー構成	LiDAR/RADAR/Camera/Ultra Sonic/GPS	同左		



- ・ 26年1月からお台場エリアで有償サービス開始。その後、中央区、千代田区、港区及び江東区の一部に順次エリアを拡大
- エリアの拡大に伴い、最大500台までOriginの台数を拡大



事業化までに必要となる許認可

		Cruise AV走行検証	Origin走行検証	サービス検証	商業化
		有人 走行検証	有人 走行検証	L4 無償運行	L4 有償運行
車両法	自動車の登録				
	自動運行装置 ·走行環境条件付与				
道交法	道路使用許可				
	特定自動運行				
運送法					